



# FAS 住まい新聞

発行責任者  
**(株)福地建装**

北斗市中野通 324  
0138-73-5558

梅雨を快適に過ごすために

## 多湿の外気が家屋内の低温部分の含水量を多くする

梅雨時期は、外気温が26度程度でそれほど高温ではないのにも関わらず、外気の湿度が70%を越えるような多湿状態が連日のように続きます。外気にも、たくさんの湿気を含んでいるため、換気をして外気を導入しても、その湿気を室内に呼び込む事になってしまいます。そうは言っても換気をしなければ、室内の気温を上昇させ、カビを繁殖させる状況を助長する事にもなります。

このような状態で、家屋内に低温部分があると、換気で取り込んだ湿気が凝縮して含水量を増大させてしまいます。室内の気温が20度以上になっていけば、家具・寝具・衣服などの含水量が多くなり、腐朽菌が活動しやすい環境となり、短時間のうちにカビが繁殖してしまいます。

カビが出来る前には、カビの胞子が浮遊し、腐朽菌の範囲を拡大する事になります。床下にある土台などが腐食しやすいのは、湿気が多く常に低温になっているため、その含水量が増大している事が大きな要因と言えるでしょう。

## カビを発生させない三大要素とは

カビを発生させないための三大要素とは、低温部分をつくらない事。湿度を高くしない事。動く空気に触れさせる事です。

湿度を高くしない事は、多湿の梅雨時期では、とても難しい事なのです。一般の住宅では、外気の湿度を取り込んでしまう事から家屋内の湿度を高くしない事は至難の事になるでしょう。

出来る事と言えば、低温部分をつくらない工夫をすべきです。普段見かける状況で、北側の日当たりの悪い和室の畳にカビが生える場合があります。これは畳が低温になっており、湿気を吸い込んでいるからです。

和室の畳に限らず、低温部分にカビが繁殖し易くなるのですから、日当たりの良い部屋とのドアや扉、開き戸などを開放し、家屋内の低温部分を改善する工夫をすべきでしょう。

動く空気に触れさせると言う工夫は、家具の下に下駄を履かせて少し持ち上げる事によって、裏側の冷やされた空気が下降するために空気が動きます。押入の底と壁側にスノコを設置する事で、高温部分と低温部分の温度差が出来ると自然と空気が動くようになります。このような発想と工夫で、家屋内のデッドスペースに低温部分をつくらず、動く空気に触れさせる事は可能なのです。

## 新築やリフォームはこの三大要素のひとつでも・・・

見栄えを良くするリフォームも、モダンな外装や内装の新築であっても、住んでから快適に過ごすための家の性能が伴ってなければなりません。

そしてこの梅雨時を快適に過ごせるハードを持っている事が、そのバロメーターとなる事でしょう。また、家を長持ちさせるには、この湿気対策、低温部分対策、動く空気に触れさす対応の三大要素のうち、ひとつでもクリアしておく事がとても肝心な事なのです。

一般の住宅では隙間と換気によって多湿状況にある外気を取り込むために、湿度対策は困難であっても、低温部分の回避、動く空気に触れさせる工夫のいずれかを必ず行う事が大切です。

## 「ファースの家」は三大要素の全てが機能する

私達、ファースグループが展開する「ファースの家」は、最初から腐らない家・長持ちする家・健康で快適な家をつくる事がコンセプトとなって研究開発を行なって参りました。湿気の入らない、そして湿気を入れないための機能を持った断熱・気密材と施工法、土台や柱・壁の中まで動く空気に触れさせる構造や一定の低温部分をつくらない構造になるような様々な知恵と工夫を行なっているのが「ファースの家」なのです。ファースリフォームも同じコンセプトで施工が可能となっております。  
「著 福地脩悦」

## 夏の知恵袋

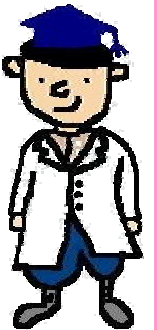
### 蚊に刺された時には

蚊に刺されたら、かいちゃダメだよ。蚊に刺されたら、お酢をつける  
と云うんだ。

お酢にはかゆみ止めと殺菌作用があるんだって。それから、庭にニオイゼラニウムやミントなんかが生えてたら、葉っぱをもんで塗ると、かゆみと腫れが引くんだよ。

刺される前にミントの葉なんかのエキスを肌に塗っておくと刺されにくいんだよ。

庭やベランダでニオイゼラニウムやミント、除虫菊や赤じそを育てると、蚊そのものの発生が減るそうだから、蚊に悩まされているお家は試してみるといいよ。



ファース本部のオフィシャルサイトは

空気サラサラ

検索